

総合科学教育研究センター教員個人業績

凡 例

以下は、秋田県立大学総合科学教育研究センター所属教員の2022年1月1日から2022年12月31日までに公表あるいは実施された主な業績を示すものである。業績の分類は、以下の5つのカテゴリに従った。

- I 著書・学術論文等
- II 学会報告等
- III 社会活動・受賞等
- IV 講演・公開講座等
- V その他の活動

高橋 秀晴 教授

I 著書・学術論文等

* 著書

- 1) 『『種蒔く人』の射程——〇〇年の時空を超えて——』秋田魁新報社2022年3月30日（編著）

* 学術論文等

- 1) 「大正論壇の立役者—吉野作造と滝田樗陰—」『社会文学』第56号、2022年8月1日（単著）

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) パネルセッション「北の文学—「種蒔く人」の時代」ファシリテーター、2022年10月9日（於：秋田芸術劇場）

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 秋田県立秋田南高等学校学校評議員、2005年4月～
- 2) 秋田県高等学校教育研究会国語部会顧問、2006年7月～
- 3) あきた文学資料館収集検討委員、2007年4月～
- 4) 秋田県立循環器・脳脊髄センター医薬品受託研究審査会委員、2007年11月～
- 5) 秋田市公文書管理委員会委員、2013年5月～
- 6) A B S 秋田放送番組審議会委員長、2014年7月～
- 7) 秋田県文化財保護審議会委員、2014年9月～
- 8) 秋田市立佐竹資料館寄贈および寄託事前審査会委員、2014年10月～
- 9) 秋田県立秋田高等学校同窓会常任理事、2014年10月～
- 10) 私立大学等即戦力人材育成支援事業選定に係る審査委員会委員、2018年4月～
- 11) 公益財団法人さきがけ文学賞渡辺喜恵子基金理事、2018年6月～
- 12) 秋田県立図書館協議会会長、2019年11月～
- 13) 日本現代詩歌文学館振興会評議員、2020年4月～
- 14) 秋田市立図書館協議会委員長、2022年7月～
- 15) さきがけアーカイブス専門委員、2022年10月～

* 学会活動

- 1) 日本近代文学会東北支部運営委員、1995年5月～
- 2) 日本社会文学会評議員、2007年7月～
- 3) 地域文化研究会 AKITA 事務局長、2009年4月～
- 4) 日本社会文学会理事、2011年6月～
- 5) 秋田風土文学会会長、2015年2月～
- 6) 「種蒔く人」顕彰会幹事、2016年4月～
- 7) 「種蒔く人」顕彰会副会長、2017年6月17日～
- 8) 八郎潟・八郎湖学研究会役員、2018年3月～

- 9) 日本近代文学会東北支部監事、2021年7月～
- 10) 「種蒔く人」百周年記念事業実行委員会事務局長、2018年9月～
- 11) 『『種蒔く人』の射程——〇〇年の時空を超えて—』編集委員長、2019年10月～2022年3月
- 12) 「種蒔く人」顕彰会総会運営、2022年1月29日
- 13) 「種蒔く人」顕彰会総会運営、2022年4月9日
- 14) 八郎潟・八郎湖学研究会総会運営、2022年4月23日
- 15) 日本近代文学会東北支部夏季大会運営、2022年7月2日
- 16) 「種蒔く人」顕彰会総会運営、2022年7月23日
- 17) 「種蒔く人」顕彰会総会運営、2022年8月27日
- 18) 「種蒔く人」顕彰会総会運営、2022年10月1日
- 19) 『『種蒔く人』創刊一〇〇周年の集い—歴史・現在、そして未来へ—』運営、2022年10月8日
- 20) パネルセッション「北の文学—「種蒔く人」の時代」運営、2022年10月9日
- 21) 日本近代文学会東北支部冬季大会運営、2022年12月17日

* 受賞

- 1) 秋田県立秋田南高等学校学校功労、2022年10月15日

IV 講演・公開講座

* 講演・公開講座

- 1) 令和4年度あきたスマートカレッジ／新たな学び講座「第54回1965年（下半期）芥川賞受賞『北の河』／高井有一と角館」2022年6月25日（於：秋田県生涯学習センター）
- 2) 令和4年度キャリア教育充実事業「キャリア設計e-ミーティング」／今、私が知りたいこの分野」2022年8月1日～2023年2月17日（オンデマンド）
- 3) 令和4年度キャリア教育充実事業「キャリア設計e-ミーティング」／パネルディスカッション～未来へつなぐ 学びの一步を踏み出そう～」2022年9月30日～2023年2月17日（オンデマンド）
- 4) あきた文学資料館「『百年はもう来ていたんだな』—『種蒔く人』の先見性—」2022年11月13日（於：あきた文学資料館）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 令和4年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「新資料・旧蔵資料による『種蒔く人』主要同人今野賢三の研究」（課題番号19K00324）研究代表者

* 新聞・雑誌掲載等

- 1) 「伊藤永之介の「ぶちまけて」を読む／刻まれた葛藤と転機」『秋田魁新報』2022年3月31日

* 記事・取材協力等

- 1) 「伊藤永之介の評論発見／芥川賞3度候補／執筆への気概つづる」『読売新聞』2022年1月29日
- 2) 「伊藤永之介の絶筆か／あきた文学資料館で見つかる／未発表の原稿676枚」『秋田魁新報』2022年3月11日
- 3) 「『every.』を合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2022年3月29日

- 4) 「令和3年度総会・講演会」を開催しました『潟さべり』第6号、2022年4月1日
- 5) 「種蒔く人」論文集完成／秋田市土崎港で誕生100年記念／顕彰会編さん、21日発売『秋田魁新報』2022年4月8日
- 6) 「秋田放送番組審議会「冒険家、阿部雅龍」合評」『秋田魁新報』2022年4月27日
- 7) 「秋田放送番組審議会／「いかさま手品師」を合評」『秋田魁新報』2022年6月28日
- 8) 「さきがけ文学賞／高橋氏、新評議員に」『秋田魁新報』2022年7月1日
- 9) 「激闘のキセキ」合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2022年7月27日
- 10) 「秋田放送番組審議会／こまち25周年特番を合評」『秋田魁新報』2022年9月27日
- 11) 「ぼなべてい。」を合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2022年10月25日
- 12) 「every.+」を合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2022年11月23日

* 被書評・引用・言及等

- 1) 「種蒔く人」創刊一〇〇周年記念誌／『種蒔く人』の射程——一〇〇年の時空を超えて／研究の第一線で活躍する一七人の執筆陣が多彩な視座から創刊からの一世紀を読み解く！』『柳瀬正夢研究会通信』第81号、2022年4月25日、1ページ～2ページ
- 2) 尾西康充「創刊から百年を記念して編集された雑誌『種蒔く人』の新たな研究成果／実績のある研究者十七名が執筆した実り豊かな、今日的意義のある内容／『種蒔く人』の射程／一〇〇年の時空を超えて／3・30刊 A5判342頁 本体2500円／秋田魁新報社」『図書新聞』第3555号、2022年8月13日
- 3) 「新刊紹介／「種蒔く人」顕彰会編『種蒔く人』の射程——一〇〇年の時空を超えて——』二〇二二年三月三〇日 秋田魁新報社刊 三三八頁 二五〇〇円＋税『日本文学』第七一卷第八号、2022年8月10日
- 4) 「『種蒔く人』の射程——100年の時空を超えて——」『種蒔く人』顕彰会（秋田魁新報社 2750円税込み）『現代女性文化研究所ニュース』No.62、2022年9月3日
- 5) 伊藤ヤヘ「過ぎし日の八郎潟を思う」『秋田魁新報』2022年9月8日

内山 応信 教授

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 内山応信「COVID-19感染拡大以降の緊急事態宣言下と非宣言下における大学初年次生の抑うつ度の比較—対応のあるデータによる検討—」第69回日本教育医学会大会、2022年8月17～18日（於：大阪成蹊大学グローバル館、オンライン開催）
- 2) 内山応信「COVID-19感染拡大以降の緊急事態宣言下と非宣言下の抑うつ頻度の比較—大学初年次生を対象として—」日本体育測定評価学会第21回大会、2022年3月5日（於：オンライン開催）

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 秋田市第4次秋田市スポーツ振興マスタープラン策定検討委員会委員、2021年4月～
- 2) 秋田市スポーツ振興基金運営委員会委員、2016年5月～

- 3) 秋田市チャレンジデー実行委員会委員、2016年4月～
 - 4) 秋田県スポーツ科学センター AKITA スーパーわか杉っ子発掘プロジェクト実行委員会委員、2011年5月～
 - 5) 秋田県立循環器・脳脊髄センター医薬品受託研究審査委員会委員、2010年4月～
 - 6) 秋田県スポーツ科学センターアスリート総合診断アドバイザー、2009年5月～
- * 学会活動
- 1) 日本教育医学会理事、2015年4月～
 - 2) 日本体力医学会東北地方会幹事、2010年4月～

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）、「他者動作のミラーリングを利用した簡便で新奇な軽度認知症スクリーニング法の提案」（研究課題/領域番号18K11102）、2018年4月～2023年3月、研究代表者

* 受託研究

- 1) 秋田大学共同研究「習慣的なラート実施による身体機能向上効果の解明」、2022年12月1日～、共同研究者

* 被書評・引用・言及等

- 1) 被引用：『AIMS Neuroscience』『Applied Sciences (Switzerland)』『BioMed Research International』『European Journal of Physiotherapy』『European Journal of Sport Science』『Frontiers in Public Health』『Frontiers in Physiology』『Gait and Posture』『Human Movement』『International Journal of Environmental Research and Public Health』『Journal of Clinical Medicine』『Journal of Comparative Effectiveness Research』『Journal of Computing in Civil Engineering』『Journal of Orthopaedic Surgery and Research』『Journal of Physical Education and Sport』『Lecture Notes in Networks and Systems』『Motriz. Revista de Educacao Fisica』『Scientific Reports』『Sensors』『Sports Biomechanics』『Sustainability (Switzerland)』『Retos』『Reviews in the Neurosciences』『Physiological Reports』など、査読付き学術雑誌掲載原著論文による被引用計30件～

小松田 儀貞 准教授

I 著書・学術論文等

* 著書

- 1) 小松田儀貞『社会化するアート／アート化する社会 社会と文化芸術の共進化』水曜社（単著）

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 小松田儀貞「社会とアートの共進化——artification（芸術化）をめぐる」第68回東北社会学会大

会、2022年7月17日（日）※オンライン開催

* 研究会報告

- 1) 小松田儀貞「千葉成夫「日本現代美術史」論をめぐって—共進化とartificationの視点からの検討」artification 科研費研究会、2022年7月8日（金）※オンライン開催
- 2) 小松田儀貞「artification 研究～振り返りと今後の展望～」artification 科研費研究会、2022年9月19日（月）（於：イーブルなごや）

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) エフエム秋田番組審議会委員、2008年4月～（副委員長2010年4月～）
- 2) 秋田うつくしま県人会事務局、2011年7月～
- 3) 秋田市男女共生推進会議委員（副委員長）2016年4月～
- 4) 秋田市男女共生推進会議専門委員（委員長）2022年7月～
- 5) 秋田市小・中学校適正配置推進委員会委員、2016年6月～2022年3月

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 2020～2023年度基盤研究(B)「社会とアートの共進化的動態とartificationの諸相に関する領域横断的研究」（課題番号20H01576）
- 2) 2017～2019年度基盤研究(C)「包括型社会の確立に向けた地域コミュニティと教育の連携・協働についての研究」（課題番号17K04602）※継続

宮本 雲平 准教授

I 著書・学術論文等

* 著書

- 1) 宮本雲平『微分積分とその応用—ベクトル解析・微分方程式まで—』（共立出版）2022年11月22日（単著）

* 学術論文等

- 1) 宮本雲平「教養数学の授業改善に向けたEMaT出題単元の分析」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2022年3月30日、第23号、7～16ページ（単著）

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) Miyamoto, U. and Hioki, K. 「Determining parameters of a Black-Hole Accretion-Disk system by observing the shadow」31st Workshop on General Relativity and Gravitation, 2022年10月26日（於：東京大学）

<p>Ⅲ 社会活動・受賞等</p> <p>* 社会活動</p> <p>1) 第23回「特異点と時空、および関連する物理」研究会、世話人、2022年12月28～30日（於：名古屋大学、ハイブリッド）</p>
<p>Ⅳ 講演・公開講座</p> <p>* 講演・公開講座</p> <p>1) 秋田県立大学学生・アドミッションチーム主催、ハイレベル数学講座「数学で解く物理の世界」、2022年3月28～30日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）</p> <p>2) 秋田県教育委員会主催、キャリア設計e-ミーティング、学問別ガイダンス物理学「一般相対論入門～ブラックホール・重力波とは～」2022年7月～2023年5月（於：オンデマンド）</p>
<p>Ⅴ その他の活動</p> <p>* 助成研究</p> <p>1) 文部科学省科学研究費、基盤研究（C）「量子効果によるワームホール形成の不安定化：経路積分による定式化と例証」研究代表者、900,000円</p>

鈴木 祐丞 助教

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) 鈴木祐丞「キェルケゴールと哲学——〈哲学〉の誠実さ、あるいは生き方としての哲学について」、『現代思想』、vol. 50-10（特集 哲学のつくり方 もう一つの哲学入門）、136-148頁、2022年7月（単著）</p> <p>2) 鈴木祐丞『〈実存哲学〉の系譜——キェルケゴールをつなぐ者たち』、講談社、2022年10月（単著）</p>
<p>II 学会報告等</p> <p>* 学会報告</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p> <p>* 社会活動</p> <p>1) 中通総合病院倫理委員会委員、2018年4月～</p> <p>2) 秋田県薬剤師会研究倫理審査委員会委員、2019年4月～</p> <p>* 学会活動</p> <p>1) キェルケゴール協会理事、2016年7月～</p> <p>2) キェルケゴール・セミナー世話人代表、2017年7月～</p> <p>3) 実存思想協会幹事、2017年8月～</p> <p>4) 東北哲学会秋田地区委員 2022年7月～</p>

IV 講演・公開講座等

* 講演・公開講座

- 1) 「『現代思想 総特集＝ウィットゲンシュタイン (2022年 1 月臨時増刊号)』合評会」、荒畑靖宏・大谷弘・鈴木祐丞 (登壇者)、2022年 3 月13日、Wittgenstein 研究会主催、於：Zoom 特設会場
- 2) 秋田哲学塾第10回哲学カフェ、2022年 3 月21日、15時～17時、「「いつ結婚するの？」というおせっかいについて考える——恋愛感情を持ちたくない人間による問題提起——」、於：ココラボラトリー＋Zoom
- 3) 秋田哲学塾「「沼山からの贈りもの」上映会＋トークセッション」、2022年 5 月11日、16時15分～18時00分、於：秋田県立大学秋田キャンパス講堂
- 4) 「斉藤喜博の教育論の今日的意義」、2022年度秋田県立大学教職員組合勉強会、2022年11月18日、於：秋田県立大学秋田キャンパス
- 5) 秋田哲学塾「「I Am Here——私たちはともに生きている」上映会＋トークセッション」、2022年11月30日、16時45分～18時30分、於：秋田県立大学本荘キャンパス AV ホール

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 科研費 基盤 (C)「キェルケゴールの日記——邦訳、出版と研究の試み」、2020～2024年度、研究代表者

* その他

- 1) 2022年度四大学連携協力事業「ウクライナ支援のために、私たちができること」アドバイザー

渡部 昌平 准教授

I 著書・学術論文等

* 著書

- 1) 渡部昌平『キャリア理論家・心理学者77人の人物で学ぶキャリア理論』2022年 2 月25日 福村出版 (単著)
- 2) 日本キャリア教育学会編『キャリア・カウンセリング エッセンシャルズ400』金剛出版、2022年 3 月31日 (共著)

* 学術論文等

- 1) 渡部昌平「グループワークを多用する講義を通じた学生のコミュニケーション理解の変化に関する探索的検討」『日本キャリア・カウンセリング学会 TODAY』2021年12月31日、4(2)、1～5 ページ (単著)
- 2) 渡部昌平「社会構成主義の観点から社会正義を考える」『キャリア教育研究』2022年 3 月31日、40(2)、57～62ページ (単著)
- 3) 渡部昌平「キャリア教育の心理的安全性を高めるための探索的研究」『日本キャリア・カウンセリング学会 TODAY』2022年 3 月31日、4(3)、1～8 ページ (単著)

- 4) 渡部昌平「学生の学修支援における教員の心理的支援の必要性」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2022年3月31日、第23号、17～22ページ（単著）
- 5) 渡部昌平「交流分析を用いたナラティブキャリアカウンセリングの分析～ナラティブキャリアカウンセリングの効果的・効率的実施の試行的分析」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2022年3月31日、第23号、23～26ページ（単著）
- 6) 浅野浩美・渡部昌平「具体的なキャリア形成の効果的・効率的な支援に関する探索的研究～研究者の直感的分析と計量テキスト分析の違いと運用方法の検討」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2022年3月31日、第23号、27～32ページ（単著）
- 7) 渡部昌平「『専門家との1対1の対面実施』に偏りがちなカウンセリング概念の拡張の必要性に関する探索的研究」『日本キャリア・カウンセリング学会 TODAY』2022年6月30日、5(1)、1～5ページ（単著）

* proceedings

- 1) 渡部昌平「大学のキャリア教育（4）間接的・直接的に体験する、異世代と触れ合う」『J C D A ジャーナル』2022年1月、No.82、22～23ページ
- 2) 渡部昌平「大学のキャリア教育（5）社会や時代の変化を意識させる」『J C D A ジャーナル』2022年5月、No.83、24～25ページ
- 3) 渡部昌平「大学のキャリア教育（6）チャレンジを奨励し、可能性を高める」『J C D A ジャーナル』2022年8月、No.84、12～13ページ
- 4) 渡部昌平「自己理解と積極性を促すキャリア教育（1）長所（自己PR）を言えるようにしよう」『指導と評価』2022年8月、vol.68-8、52～53ページ
- 5) 渡部昌平「自己理解と積極性を促すキャリア教育（2）挑戦の機会を提供しよう／挑戦を奨励しよう」『指導と評価』2022年9月、vol.68-9、～ページ
- 6) 渡部昌平「自己理解と積極性を促すキャリア教育（3）やりたいこと、なりたい姿を明らかにしよう」『指導と評価』2022年10月、vol.68-10、54～55ページ
- 7) 渡部昌平「大学のキャリア教育（7）さらなる工夫～書かせる、グループで話をさせる」『J C D A ジャーナル』2022年11月、No.85、22～23ページ
- 8) 渡部昌平「自己理解と積極性を促すキャリア教育（4）仕事理解を支援しよう」『指導と評価』2022年11月、vol.68-11、56～57ページ
- 9) 渡部昌平「自己理解と積極性を促すキャリア教育（5）進学・就職の前に～これまでに前向きに振り返ろう」『指導と評価』2022年12月、vol.68-12、50～51ページ

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 渡部昌平「セカンドキャリア設計の必要性と効果・課題に関する探索的研究」日本キャリアデザイン学会、2022年9月11日（於：オンライン）
- 2) 渡部昌平「大学生は誰とのコミュニケーションに苦手意識を持っているのか、何が足りないと感じているのか」日本教育カウンセリング学会第19回研究発表大会、2022年10月30日（於：オンライン）
- 3) 渡部昌平「大学生活でのコミュニケーションの苦手と成長に関する探索的研究」東北心理学会第75回

大会（兼北海道心理学会・東北心理学会第13回合同大会）、2022年11月5日（於：北海道大学）

- 4）渡部昌平「大学生の消費者教育経験と大学の消費者教育に必要な内容から問題の把握および基礎的調査」日本キャリア・カウンセリング学会第27回大会、2022年11月6日（於：オンライン）

*学会報告座長・コメンテーター

- 1）日本キャリアデザイン学会第18回研究大会第2部会コメンテーター、2022年9月10日（於：オンライン）

*学会大会実行委員長

- 1）日本キャリア教育学会第44回研究大会、2022年11月12日13日（於：ANA クラウンプラザホテル秋田→オンライン）

III 社会活動・受賞等

*社会活動

- 1）秋田県地域訓練協議会会長、2012年6月～
- 2）（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構秋田センター運営協議会会長、2015年4月～
- 3）キャリアコンサルティング技能検定 指定試験機関技能検定委員、2017年5月～
- 4）秋田労働局キャリアコンサルタント更新講習運営委員会委員、2020年3月～ ほか

*学会活動

- 1）日本キャリア教育学会 理事（2018年9月～2022年11月）、情報委員会副委員長（2018年9月～2022年11月）北海道・東北地区部会幹事（2021年1月～）
- 2）日本キャリア・カウンセリング学会 学術論文査読
- 3）日本教育カウンセリング学会 編集査読協力委員（2016年3月～）
- 4）日本キャリアデザイン学会 学術論文査読（副査）
- 5）日本産業カウンセラー協会秋田県運営部自主学習組織「秋田ふれあいこまち会」副会長（2019年4月～） ほか

*受賞

- 1）サイエンティスト・プラクティショナー賞（日本教育カウンセリング学会）2022年10月29日

IV 講演・公開講座

*講演・公開講座

- 1）秋田市倫理法人会モーニングセミナー「どうすれば伝わるのか、どうして伝わらないのか」、2022年2月22日（於：メトロポリタンホテル秋田）
- 2）あじさいの会「どうすれば伝わるのか、どうして伝わらないのか」、2022年3月5日（於：仙北市役所角館庁舎）※コロナのため延期
- 3）秋田市倫理法人会モーニングセミナー「新社会人との向き合い方／新社会人の向き合い方」、2022年3月29日（於：メトロポリタンホテル秋田）
- 4）中学校新任進路指導主事研修講座「中学校におけるキャリア教育」、2022年6月9日（於：秋田県総合教育センター）
- 5）日本産業カウンセラー協会関西支部研修「ナラティブアプローチ」、2022年6月25日（於：オンライン）

- 6) 埼玉県ガイダンスカウンセラー協会研修「キャリアカウンセリングのナラティブアプローチ」、2022年7月16日（於：オンライン）
- 7) 北海道キャリア教育研究会研修「キャリアカウンセリングのナラティブアプローチ」、2022年7月17日（於：オンライン）
- 8) あじさいの会「どうすれば伝わるのか、どうして伝わらないのか」、2022年8月27日（於：仙北市役所角館庁舎）
- 9) 日本産業カウンセラー協会秋田県運営部自主勉強組織秋田ふれあいこまち会「誰でもできるセルフキャリアカウンセリング」、2022年9月3日（於：オンライン）
- 10) 秋田労働局キャリアコンサルタント更新講習「技能Ⅱ」、2022年9月5日6日（於：秋田市文化会館第5会議室）
- 11) あきた就職支援センター管理職研修「若年労働者の定着のために必要なこと」、2022年9月7日（於：秋田テルサ5階第一会議室）
- 12) 秋田市倫理法人会モーニングセミナー「若手社員の定着に向けて」、2022年9月20日（於：メトロポリタンホテル秋田）
- 13) 小学校キャリア教育推進研修講座「小学校だからこそキャリア教育」、2022年10月6日（於：秋田県総合教育センター）
- 14) あきた就職支援センター管理職研修「若年労働者の定着のために必要なこと」、2022年12月9日（於：秋田テルサ5階第三会議室）

V その他の活動

伊藤 大輔 准教授

I 著書・学術論文等

*学術論文等

- 1) 伊藤大輔・江村伯夫・木村竜也「工科系大学生における自律的動機づけと批判的思考態度が自己調整学習方略の使用に及ぼす影響」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2022年3月30日、第23号、33～42ページ（共著）
- 2) 境英一・小宮山崇夫・小野弘貴・橋浦康一郎・菅野秀人・嶋崎真仁・櫻井健二・小峰正史・高橋守・伊藤大輔・廣田千明「教職員の負担軽減に向けた ICT 活用」『秋田県立大学ウェブジャーナル A（地域貢献と研究成果）』2022年10月31日、10号、7～14ページ（共著）
- 3) 廣田千明・橋浦康一郎・菅野秀人・櫻井健二・高橋守・境英一・小宮山崇夫・嶋崎真仁・小峰正史・小野弘貴・伊藤大輔「ICT を活用した大学教育のグッドプラクティスの開発：高等教育における教育 DX に向けて」『秋田県立大学ウェブジャーナル A（地域貢献と研究成果）』2022年10月31日、10号、15～26ページ（共著）
- 4) 伊藤大輔・木村竜也・木村裕一「教職課程履修学生の ICT 活用指導力の現状と課題：『教育の情報化に関する手引』と『教員の ICT 活用指導力チェックリスト』に基づいて」『秋田県立大学ウェブジャーナル A（地域貢献と研究成果）』2022年10月31日、10号、46～56ページ（共著）

* Proceeding

- 1) 寺西望・木村竜也・伊藤大輔「PBLに基づいた『総合的な探究の時間』の実践」『日本教育工学会研究報告集』（日本教育工学会）2022年6月27日、JSET22-2、1～6ページ
- 2) 櫻井純代・伊藤大輔・磯部征尊「学級力向上プロジェクトと授業づくりを関連付ける指導方法の在り方に関する研究」『日本教育工学会研究報告集』（日本教育工学会）2022年10月3日、JSET22-3、209～216ページ
- 3) 木村竜也・寺西望・伊藤大輔「PBLに基づいた『総合的な探究の時間』における生徒の振り返りの検討」『日本教育工学会研究報告集』（日本教育工学会）2022年12月3日、JSET22-4、134～141ページ

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 伊藤大輔・倉本哲男・磯部征尊「教育委員会の指導主事を対象とした公開講座の開発」日本カリキュラム学会 第33回名古屋大学 web 大会、2022年7月10日（オンライン）
- 2) 伊藤大輔「『拡張する学校』の組織構造に関する一考察：統合コード型と収集コード型の理念型に基づいて」科研費・基盤研究（A）「拡張する学校を創る」第1回研究会、2022年8月7日
- 3) 日比野浩規・渡津光司・伊藤大輔・磯部征尊「情報活用能力に着目した研修プログラムのデザインと評価」日本産業技術教育学会 第65回全国大会、2022年8月21日（オンライン）
- 4) 磯部征尊・小出邦博・伊藤大輔・山崎貞登「生活を工夫し創造する資質・能力を育む形成過程テストの検証」日本産業技術教育学会 第65回全国大会、2022年8月22日（オンライン）
- 5) 伊藤大輔・木村竜也・江村伯夫「チェックリストを用いた PBL 授業における振り返り活動の評価」日本教育工学会2022 年秋季全国大会、2022年9月10日
- 6) 山住勝広・伊藤大輔・高橋栄介・上田真未・渡邊楓「校内研究における教師の拡張的学習の生成と変革的エージェンシーの形成」日本教育方法学会第58回大会、2022年10月2日

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 2022年度愛知教育大学公開講座 スクールリーダー研修「生涯学び続ける力を育むために～自律的学習動機づけと自己調整学習の理論から考える～」講師、7月20日（水）～ 8月31日（オンライン）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 令和4年度部局提案型研究推進事業「効果的で簡単に実施できるハイフレックス」、2022年4月～2023年3月、研究分担者
- 2) 国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）「『レッスンスタディーとカリキュラムマネジメント教職研修』開発の国際的研究」、2020年10月～2024年3月、研究分担者
- 3) 科学研究費補助金（基盤研究(A)）「拡張する学校を創る―変革的エージェンシーの形成へ―」、2022年4月～2027年3月、分担研究者
- 4) 科学研究費補助金（基盤研究(C)）「見えないものの価値の認識を促すプログラミング教材の開発」、2022年4月～2026年3月、分担研究者
- 5) 科学研究費補助金（基盤研究(C)）「日本型 STREAM 教育の確立を目指す国際比較調査と教育実践研究」、2022年4月～2025年3月、分担研究者

西 聡 特任教授

Ⅲ 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 秋田県立秋田南高等学校学校活性化提言委員、2017年 5 月～
- 2) 秋田県教職キャリア協議会委員、2020年 5 月～
- 3) 秋田県教員養成連携協議会委員、2020年 7 月～
- 4) 秋田県子どもプログラミング教育研究会幹事、2021年10月～
- 5) 第32回秋田県高等学校産業教育フェア体験発表会審査員・講評者、2022年10月26日（於：秋田県立秋田工業高等学校）

高橋 守 教授

Ⅰ 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) Takahashi, M. 「TOEIC Bridge and ER in Remote Classes」、『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2022年 3 月31日、第23号、43-48ページ（単著）

Ⅱ 学会報告等

* 学会報告

- 1) Takahashi, M. 「Teaching Self-studying : Ideas of Self-study Habit」、全国語学教育学会（JALT）分野別研究部会2022年次大会、2022年 7 月 9 日（オンライン）
- 2) Takahashi, M. 「"Chicken and Egg problem: Word counts or academic ability?" 国際多読学会（ERF）2022年次国際大会（ERAW2022）、2022年 8 月 5 日（オンライン）

Ⅲ 社会活動・受賞等

* 学会活動

- 1) 全国語学教育学会秋田支部役員（会計担当役員2015年10月～）

V その他の活動

* 助成研究

日本学術振興会学研究費、基盤研究（C）、20K00837 【R2-R5】研究課題「英語学力とエクステンシブ・リーディング（英文多読）の関係」、研究代表者

岡崎 弘信 教授

II 学会報告等

* 学会報告

- 1) 岡崎弘信「日本人英語学習者のリーディングスピードとリスニング力を考える」岡山 e-learning 研究会2021年度研究会、2022年3月27日（於：環太平洋大学（on-line））
- 2) 稲川 敬介、岡崎弘信「e ラーニングシステムにおけるテーラーメイド型カリキュラムの自動作成について」岡山 e-learning 研究会2022年度研究会、2022年12月10日（於：環太平洋大学（on-line））

* 学会報告座長

- 1) 岡山 e-learning 研究会2021年度研究会 A3、A5セッション座長、2022年3月27日（於：環太平洋大学（on-line））
- 2) 岡山 e-learning 研究会2022年度研究会 A3、A6セッション座長、2022年12月10日（於：環太平洋大学（on-line））

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

- 1) 秋田弁護士会懲戒委員会委員、2019年4月～
- 2) 由利高等学校令和4年度第2学年「課題研究」発表会講評者、2022年11月16日（於：文化交流館カダーレ）

V その他の活動

* 助成研究

- 1) 日本学術振興会科学研究費（基盤研究（C））、「日本人英語学習者のリーディングスピードがリスニング力に与える影響の研究」、2022年4月～2026年3月、研究代表者
- 2) 日本学術振興会科学研究費（基盤研究（C））、「英語母語話者の航空管制通話と日本人リスニング能力の限界」、2021年4月～2024年3月、研究分担者

* 特許取得

- 1) 名称「教材学習スケジュール決定装置」（特許第7039015号）（共同発明者）2022年3月11日

山崎 健一 准教授

I 著書・学術論文等

* 学術論文等

- 1) Ken'ichi Yamazaki 「Evaluating Speaking Performance of College-Level Japanese EFL Learners; A Trial Investigation Using an External English-Speaking Test」『Journal of Teaching English』（Japan Association for the Study of Teaching English）2022年12月、第31号、111～123ページ（単著）
- 2) Ken'ichi Yamazaki 「Effects of Longitudinal Speaking Practice in English Classes at a Japanese University」『TELES Journal』（The Tohoku English Language Education Society）2022年3月、第42号、167～182ページ（単著）

<p>II 学会報告等</p> <p>* 学会報告</p> <p>1) Ken'ichi Yamazaki 「A Case Study of English-Speaking Extracurricular Activities at a Japanese University」 61st JACET International Convention、2022年8月25日（オンライン）</p> <p>2) 山崎健一「大学における英語課外活動がもたらす教育的効果の質的研究の試み」東北英語教育学会第40回宮城研究大会、2022年6月26日（オンライン）</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p> <p>* 学会活動</p> <p>TELES Journal 査読委員</p>
<p>IV 講演・公開講座等</p>
<p>V その他の活動</p>

ジェイソン・タッカー 助教

<p>I 著書・学術論文等</p> <p>* 学術論文等</p> <p>1) Tacker J, 「Student Motivation Through Gaming: Games-Based Learning for EFL」『秋田英語英文学』No. 63 29 - 37ページ, 2022/3/31・Mar 31, 2022</p> <p>2) Tacker J, 「Enhancing Online Language Education Through Virtual Reality」『秋田県立大学総合科学教育研究彙報』Vol, 23, 2022年12月、49-58 ページ・March 7, 2022</p>
<p>II 学会報告等</p> <p>* 学会報告</p> <p>1) Tacker J, 「Digital Gaming for Student Motivation and Identity Creation」JALT2022, Nov 11 - 14, 2022</p> <p>2) Tacker J, 「Virtual Reality for Immersive Student Motivation」JALT CALL SIG 2022 (Online), June 17 - 19, 2022</p> <p>3) Tacker J, 「Virtual Reality for Immersive Student Motivation」Yamagata JALT, Jun 11, 2022</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p> <p>* 学会活動</p> <p>1) 全国語学教育学会秋田支部役員 (メンバースhip担当役員2019年10月～2022年10月)</p>

- 2) 全国語学教育学会秋田県支部長
(プログラミング担当、2022年10月～)
- 3) Online Hybrid and Face to Face Conference volunteer (Face to Face Host) JALT Annual International Conference JALT Annual International Conference March - Nov 2022
- 4) Online Hybrid and Face to Face Conference volunteer - (Online Host) JALT PANSIG 2022 Hybrid Conference Support Team Mar - Jul 2022
- 5) Online Hybrid and Face to Face Conference volunteer - (Online Host)
Extensive Reading Around the World 2022 Conference Mar - Aug 2022

IV 講演・公開講座

「Game Development and VR, utilizing Finite State Machine AI」
AIU Themed House online Lecture 2:00pm to 3:00 PM October 14th, 2022

V その他の活動

* 助成研究

日本学術振興会学研究費、基盤研究 (C)、20K00837【R2-R4】研究課題「英語学力とエクステンシブ・リーディング (英文多読) の関係」、研究分担者

Avanzi Maria Carlotta 助教

II 学会報告等

* 学会発表

Avanzi M. C. 「A Global Citizenship Course—Teaching English through Art」(JALTCALL 2021), 2022年10月22日 (於: Japan, オンライン)

III 社会活動・受賞等

* 社会活動

子ども会の名前: 「子ども会夢活動」—夢活動の名称: 「イタリア文化体験」; 実地場所: 秋田市下出戸公民館 (2022年8月11日)

V その他の活動

* 助成研究

日本学術振興会科学研究費 (研究活動スタートアップ) 「地方に遺る白鳳時代の小金銅仏に関する研究」 (課題番号21K19952) 2021年8月—2023年3月、研究代表者

尾崎 加奈 助教

I 著書・学術論文等
II 学会報告等
III 社会活動・受賞等
IV 講演・公開講座
<p>V その他の活動</p> <p>* 助成研究 令和4年度学長プロジェクト新任教員スタートアップ支援研究費「イエイツの演劇に見られる独自性－舞踊の必然性とその意義」</p> <p>* 助言等 令和4年度国際交流事業 "Empowerment Program"（令和5年2月実施予定）のプログラムについての助言。</p> <p>* その他 TOEIC IP の2回の実施（令和4年5月および12月）</p>